

1 YouTube を活用したリモート授業

県立佐野高等学校附属中学校

中学1～3年生 数学・英語他

休業中にも学習が進められるよう、YouTube 上に講義形式の動画をアップロードした。生徒達は新たな学習内容を先生方の姿を見ながら知ることができ、安心して学習に取り組むことができた。

◆概要◆

休業中にも学習が進められるよう、YouTube 上に講義形式の動画をアップロードし、生徒・保護者に知らせる。

◆活用した ICT 機器等◆

ビデオカメラ PC 提示用の機材（黒板・プロジェクタ等）

◆活用の様子◆

1 動画の撮影

教室にビデオカメラを用意し、講義形式の動画を撮影する。動画に鮮明に残るよう、文字の大きさ、光の反射などに配慮して撮影を行う。



2 YouTube にアップロード

YouTube のアカウントを取得し、動画のアップロードを行う。動画を一般に公開したくない場合、「限定公開」の設定にする。その後、URL を確認し、コピーする。



3 学校ホームページへのリンクの貼り付け

学校ホームページのグループスペースに、動画のURLを貼り付け、説明書載せる。(グループスペースとは、生徒・保護者がID、パスワードを入力すると閲覧できるスペースのこと。)



4 通知を郵送して生徒・保護者に周知

保護者、生徒には文書や学校一斉メールで知らせる。その際、知り得たURLは個人情報保護の観点から他人に教えないよう周知する。



◆成果と課題◆

- 事後アンケートでは、教師の姿を見ながら学習することで、生徒達は安心して学習することができたようだった。
- 自分ひとりで学習するのではなく、動画を見ながら学習することで、自信を持って学習をすすめることができていた。
- ▲ 撮影、編集、アップロードのスキルによって教員によって取り組みに差があった。また、インターネットに自分の授業の姿を載せること自体に抵抗をもつ教員もいた。

2 PowerPoint を活用した授業動画の作成

県立佐野高等学校附属中学校

中学1～3年生 国語・数学他

YouTube 上にアップロードする動画をパワーポイントで作成することで、自分の姿を見せずに授業をすることができた。これにより、YouTube に授業の動画を掲載する教員が増えた。

◆概要◆

YouTube 上にアップロードする動画をパワーポイントで作成することで、自分の姿を見せずに授業をすることができる。

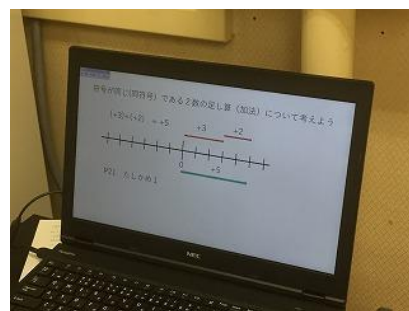
◆活用した ICT 機器等◆

パソコン PowerPoint ヘッドセット

◆活用の様子◆

1 スライドの作成

動画用のスライドを作成する。日頃授業で使用しているものがあればそのまま使用することも可能である。



2 ナレーションの挿入

「スライドショーの記録」機能を使用し、スライドを流しながらナレーションを録音していく。ミスがあれば、スライドごとにとりなおしが可能である。保存する際に、「mp4」ファイルで保存すると、動画データとなる。



3 YouTube へのアップロード

YouTube のアカウントを取得し、動画のアップロードを行う。動画を一般に公開したくない場合、「限定公開」の設定にする。その後、URL を確認し、コピーする。



4 学校 HP へ URL を掲載・周知

学校ホームページのグループスペースに、動画の URL を貼り付け、説明書載せる。(グループスペースとは、生徒・保護者が ID、パスワードを入力すると閲覧できるスペースのこと。)



◆成果と課題◆

- 直接撮影・編集するよりも手間がかからず、姿を見せずに授業の内容をアップロードすることができ、多くの先生方が動画を作成してくださった。その結果、生徒達が見られる内容が大幅に増えた。
- 制作したスライドは、そのまま通常授業に使用することができた。
- ▲ 動画を公開する場合、普段から生徒達が見られるようにする際に守るべきガイドラインの検討が必要である。

3 学校ホームページを活用した連絡・家庭学習

県立佐野高等学校附属中学校

中学1年生 国語・英語など

学校ホームページに課題プリントや各種お知らせを掲載することで、生徒達が各家庭で学習に取り組むことができるようにした。また、家庭との連絡が確実にできるようなした。

◆概要◆

学校ホームページに課題プリントや各種お知らせを掲載することで、生徒達が各家庭で学習に取り組むことができるようにする。また、家庭との連絡が確実にできるようなする。

◆活用した ICT 機器等◆

学校ホームページ 各種たより 学習用プリント

◆活用の様子◆

1 学校 HP ヘデータを貼り付け

学校ホームページのグループスペースに、時間割、各種たより、授業のワークシート、音声データ、学習に使用できる画像などを貼り付ける。

(グループスペースとは、生徒・保護者が ID、パスワードを入力すると閲覧できるスペースのこと。)



2 ID、PASS の周知

グループスペースの ID、パスワードを書面や学校一斉メールで生徒、保護者に知らせる。その際、ID、パスワードを関係者以外に漏らすことのないよう説明する。

3 生徒の取り組み

生徒は、英語のリスニングや、理科の植物の観察、保健体育の自校体操など、様々な学習に取り組むことができるようになった。また、時間割や各種お知らせなども掲載することで、学校の状況や次に登校する際の情報などを知ることができた。

◆成果と課題◆

- 生徒達はホームページのデータを利用することで、学習を進めたり、学校の様子や、学校が再開してからの流れを把握したりすることができた。
- 各種たよりや学校からの文書など、様々なことに応用ができる可能性がある。様々な通知のペーパレス化に寄与できる。
- ▲ ID、パスワードを設定してはいるが、どんな情報でも載せられるというわけではなく、取捨選択することが必要である。また、定期的にID、パスワードを変更するなど、管理が必要である。

4 Zoom を活用したリモート講話・学年集会

県立佐野高等学校附属中学校

中学 1 年生 総合的な学習の時間・特別活動・学校行事

6月、学校が開始してからの集会や総合での講師を招いての講話を、Zoom を使用したリモート集会・リモート講話にし、できるだけ通常通りのカリキュラムを行えるよう努力した。

◆概要◆

6月、学校が開始してからの集会や総合での講師を招いての講話を、Zoom を使用したリモート集会・リモート講話にし、できるだけ通常通りのカリキュラムを行う。

◆活用した ICT 機器等◆

Zoom パソコン マイク スピーカー

◆活用の様子◆

1 講師との打ち合わせ

Zoom の使用の仕方、講演の内容などを事前に打ち合わせる。通信データ容量が 2 時間で 1 G B 程度消費されるため、相手側の通信環境を確認し、了承を得る。（貸し出し用の端末や無線ルータ等がある場合は使用して頂く。）



2 各クラスの準備

各クラスに Zoom の画面を映し出す用意をする。プロジェクタ、TV 画面、電子黒板など様々なパターンが考えられるが、今回は音声全員に聞こえることを優先し、テレビに写しだし、音声もテレビのスピーカーで行った。



3 Zoomによる各クラス、講師との接続

各クラスと講師の端末を Zoom でつなぎ、講演を行って頂く。司会役の生徒や謝辞担当の生徒も全体に対して話すことができ、完全な一方向ではなく双方向でやりとりを行うことができた。



◆成果と課題◆

- 密を避けなくてはならず、学年全体で集まれない際や、外部から講師を招けない際などに、実際に近い形で集会や講話を行うことができた。
- 何度か導入を行い、スムーズに接続ができるようになれば、世界中どこでも話し合いや講話を行うことができる。
- ▲ 導入当初は接続したり音声をつないだりビデオを ON/OFF にする方法などの周知が徹底できず、接続やその後の設定に手間取ってしまう場面が多く見られた。

5 Zoom を活用したオンライン授業参観

県立佐野高等学校附属中学校

中学1、3年生 英語、道徳、総合ほか

Zoom を用いてオンラインでの授業参観を行った。保護者に学校での生徒の様子を見て頂けるだけでなく、普段見られないような角度で授業を見ることができるようになった。

◆概要◆

Zoom 用いてオンラインでの授業参観を行った。保護者に学校での生徒の様子を伝えるだけでなく、普段見られないような角度で授業を見ることができるようになる。

◆活用した ICT 機器等◆

Zoom パソコン タブレット

◆活用の様子◆

1 ID、PASS を周知（通知の配布・メールの送信）

書面での通知や学校一斉メールを利用して、当日のミーティング ID やパスコードを周知する。同時に保護者のみで外部に漏らさないよう連絡する。



2 機材のセッティング

端末をセットし、教室全体が移るようにする。1台だけでなく、複数台の端末で撮影することで、全ての生徒を多角的にとらえることができる。複数の端末を使用する際には、音をキャッチする用の端末以外はハウリングを防ぐため、「オーディオの参加」を ON にしないしておく。



3 授業参観

授業を行う。保護者には生徒の名前を表示してログインして頂く。保護者の音声が入ってしまう場合もあるため、その都度ホストからミュートにする。（ホスト機は撮影機と別にするとう管理がしやすい。）



4 チャットでご意見を頂く

終了時間が近づいたら、チャットで感想を頂く。保護者からは「音が聞き取りづらかった」「様々な角度で見られて良かった」「初めて学校の授業中のこどもの様子が見られて良かった」等の感想を頂いた。



◆成果と課題◆

- 保護者に学校での生徒の様子を見て頂けるだけでなく、普段見られないような角度で授業を見て頂くことができた。
- 保護者が学校に足を運ばずとも授業の様子を見ることができた。コロナ禍後も足を運ばない保護者に対しての配慮として配信することも考えられる。
- ▲ 保護者の通信環境によっては、参加できない、参加しづらい保護者もいる。
- ▲ ID、パスコードが外部に流出しないよう、周知はしているが、100%管理するということが難しい。

6 YouTube を活用したオンライン授業参観

県立佐野高等学校附属中学校

中学1年生 総合的な学習の時間

Zoom を使用して同時に数クラスでオンライン授業参観をしようとすると時間無制限の契約したアカウントがクラス数分必要である。そのため、同時に配信できる YouTube によるライブ配信を行った。

◆概要◆

Zoom を使用して同時に数クラスでオンライン授業参観をしようとすると時間無制限の契約したアカウントがクラス数分必要である。同時に配信しやすいのは YouTube によるライブ配信である。

◆活用した ICT 機器等◆

パソコン YouTube ライブ配信

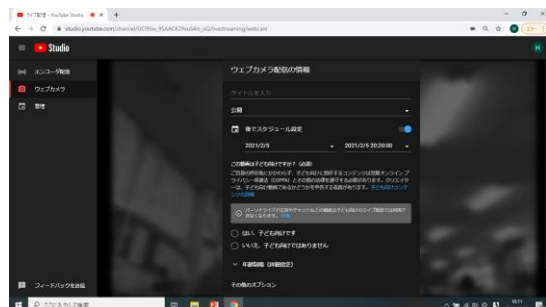
◆活用の様子◆

1 YouTube のアカウント作成

Google のアカウントを取得し、YouTube チャンネルを開設する。ライブ配信は、申請してから許可が出るまで時間がかかるので注意が必要。

2 URL を事前に取得

YouTube から右上の「作成」→「ライブ配信を開始」を選択し、「後でスケジュール設定」を選択し、日付と時間を指定する。ストリームのプレビューが表示されたら、「共有」から URL を取得することができる。その際、関係者だけが見られる「限定公開」の設定にする。



3 URLの周知

書面や学校一斉メールを利用して、配信用 URL を周知する。その際、個人情報保護のため保護者以外に URL が漏れることのないよう管理するよう説明する。



4 配信

予定日時になったら YouTube から「ライブ配信を開始」をクリックしてライブ配信を行う。配信終了後、アーカイブが残ってしまうので必要に応じて設定を非公開にしたり動画を削除したりする。



◆成果と課題◆

- Zoom 有料のアカウントを複数取得することなく、オンライン授業参観を複数のクラスで行うことができた。（その後、教育用の Zoom アカウントを複数取得することができた。）
- 生徒達は YouTube に自分たちの動画が載っている姿や、YouTube に動画を配信する過程を見て、活動に対するモチベーションを向上させていた。
- ▲ URL の管理が難しい。自動的にアーカイブが残ってしまうので、設定を非公開にしたり削除したりしなければならない。Zoom と違って誰が見ているか分からない。カメラは基本的に 1 台しか使えないため、通常授業で全体を写すことが難しい。
- ▲ 残された動画は削除しない限りインターネット上に残り続けてしまうので、管理の方法をよく検討しなくてはならない。

7 Zoom を活用したリモート授業

県立佐野高等学校附属中学校

中学2年生 英語

2年生の英語の授業において、学校から授業を配信し、ZOOM を使用して生徒たちは家庭で授業を受ける、という取り組みを行った。できること、できないことが分かり、今後に向けての展望がみられた。

◆概要◆

第2学年英語（チャンツ, small talk, 発表）の内容で、学校から Zoom を用いて授業を配信し、各家庭にいる生徒達と双方向でやりとりをしながら授業を行う。

◆活用した ICT 機器等◆

Zoom パソコン マイク スピーカー

貸し出し用タブレット（家庭環境が整っていない生徒用）

◆活用の様子◆

1 生徒への Zoom の使い方講習

事前に生徒達にタブレット端末を用いて、Zoom の使用方法について説明を行う。同じ教室内でオーディオに参加してしまうとハウリングが起きてしまうので、ヘッドセットを使用するか、説明だけしておいてオーディオには参加させないようにする。

2 ID、パスコードの配布

当日用のミーティング ID、パスコードを書面や一斉メールで周知する。その際、ID、パスコードを外部に漏らさないよう説明する。



3 Zoomによる授業の配信

Zoomを用いて授業を行う。普段通りの授業を行おうとすると様々な面で不都合が生じることが分かった。リモートで行う際にどのように不都合を解消していくかを今後検討していく。

◆成果と課題◆

- 生徒からは、「概ね楽しかった。」「普段通りだった。」「またやってみたい。」などの感想を得られた。

▲ 【生徒から】

- ・ 音声がつながらない。
- ・ 通信が不安定だった。
- ・ 画像がぼやけていた。
- ・ 音声が途切れる。

【教員から】

- ・ 生徒全員を正しい状態で参加させるのに時間と労力を要した。
- ・ グループセッションに分かれたとき、各グループの様子が分からない。
- ・ 全ゲストの画面の並び方が不明。（入室した順？）誰かを探すとき探しにくい。
- ・ 家の中の様子が見えてしまう。
- ・ ホストが1度削除したゲストは再入室できないことを知らずに、手違いで削除してしまった。
- ・ 入室者の名前がニックネームとなっている生徒がおり、出席確認に時間がかかった。
- ・ 板書しようとする、黒板をうまく映す必要があり、カメラの位置に注意が必要。
- ・ Zoomの操作方法に慣れる必要がある。教員研修が必要。
- ・ 慣れるまでは授業者の他に授業をサポートする人がいると良い。チャットの質問に答えたり、カメラの撮影場所を変えたりサポートができると、教師は授業に専念できる。

8 普段の授業を家庭に配信する

県立佐野高等学校附属中学校

中学1年生 総合的な学習の時間・特別活動・学校行事

(濃厚接触者となったため、) 長期間出席停止になってしまう生徒に対して普段の授業を Zoom で配信する取り組みを行った。生徒は普段通りの生活リズムで生活し、級友や教師の顔を見ながら学習することができた。

◆概要◆

長期間出席停止になってしまった生徒に対して学校での普段の授業を ZOOM で配信する。

◆活用した ICT 機器等◆

Zoom パソコン マイク スピーカー

◆活用の様子◆

1 セッティング

Zoom をインストールした端末を授業のある教室にセッティングする。タブレット端末と譜面台を使用すると、移動教室もスムーズにセッティングできる。



2 ID、パスコードの連絡

当該生徒、保護者にミーティング ID、パスコードを周知する。その際、外部に漏れることのないよう説明する。また、1 日中 Zoom でつながっているとデータ通信容量を大量に消費するので、相手の通信環境を把握しておき、貸し出せる場合は端末やルーターを貸し出す。

3 Zoomによる各クラス、出席停止の生徒との接続

教室と出席停止の生徒を Zoom でつなぐ。教室内で担当の生徒を決め、接続方法を説明すると、移動教室の際も対応しやすい。



◆成果と課題◆

- 特別の事情があって出席停止になっている生徒が、授業が受けられる程度に体調が回復した際に授業を受けることができるようになった。
- 長期の出席停止になった生徒も、教室の生徒とやりとりしながら生活することができ、安心することができた。
- ▲ データ通信容量を大量に消費するのでお互いの通信環境に注意が必要。
- ▲ どのような立場の生徒にこの取り組みを許可するかの線引きが難しい。(休んだ→Zoom 配信が定着しすぎてしまうと欠席生徒が多くなる可能性がある。)

9 Google form を利用した出欠確認

県立佐野高等学校附属中学校

中学1年生 保護者会において

Google form でアンケートを作成し、ペーパーレスで返事を得られるようにし、保護者や教員の負担軽減にもつながった。また、今後様々な調査や学習に生かすことができると考えられる。

◆概要◆

Google form でアンケートを作成し、ペーパーレスで返事を得られるようにする。今後様々な調査や学習に生かすことができると考えられる。

◆活用した ICT 機器等◆

パソコン 学校連絡メール

◆活用の様子◆

1 Google form の作成

Google のアカウントを取得し、Google form で回答用フォームを作成できる。作成は比較的容易で、学校ホームページの管理と同じような感覚で行うことができる。作成が完了したら、URL を取得する。



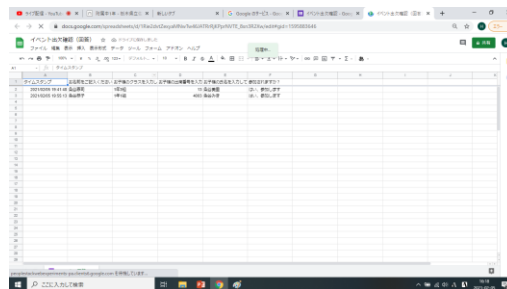
2 保護者への周知

保護者に一斉メールを用いて URL を周知する。その際、URL が外部に漏れることのないよう説明する。



3 回答・集計

回答は自動的に Google スプレッドシートに集計されていくので、そのまま確認・編集を行うことができる。今まで書面で行っていたアンケートから、データに転記する作業が省略されるため、様々な面で業務の効率化を図れる可能性がある。



◆成果と課題◆

- 保護者会を確実に通知することができ、スマホ内で出欠回答まで行うことができたため、保護者や担当教諭の負担軽減につながったと考えられる。
- 集計結果は、自動でスプレッドシートに集約できるため、今後様々な調査、学習にも生かすことができる可能性がある。
- ▲ 操作に慣れるまでは様々なトラブルが起きる可能性がある。操作が分からない保護者への対応について検討しなければならない。